

## ▼塩酸キニーネ [内]

【重要度】 【一般製剤名】 キニーネ塩酸塩水和物 (U) quinine hydrochloride 【分類】 抗マラリア剤

【単位】 ▼原末

【常用量】 1.5g/日

【用法】 1日3回

【透析患者への投与方法】 10mg/kgを24hr毎 [HD日はHD後]、重症なら10mg/kgを8hr毎か、15mg/kgを12hr毎に治療濃度に到達するまで投与 (17) HD後に投与 (サンフォード感染症治療ガイド) 【PD】 10mg/kgを24hr毎 (17) 650mgを24hr毎 (サンフォード感染症治療ガイド) 【CRRT】 10mg/kgを8~12hr毎か15~20mg/kg/日を分割投与 (17) 650mgを24hr毎 (サンフォード感染症治療ガイド)

【保存期 CKD患者への投与方法】 GFR>50mL/min : 重症例には初回20mg/kgを4hr以上かけて点滴静注し、続いて10mg/kgを8hr毎に点滴静注 [計48hr]、非重症例には10mg/kgを8hr毎に経口投与を5~7日間継続、GFR 10~50mL/min : 10mg/kg経口を12hr毎 [2/3に減量]、GFR 10mL/min未満 : 10mg/kgを24hr毎 [重症なら治療濃度に到達するまで10mg/kgを8hr毎] (17) Ccr>50mL/min : 650mgを8hr毎、Ccr 10~50mL/min : 650mgを8~12hr毎、Ccr 10mL/min未満 : 650mgを24hr毎 (サンフォード感染症治療ガイド)

【特徴】 キナ皮に含まれる天然アルカロイドで、不整脈治療剤キニジンの光学異性体。非熱帯熱マラリアと合併症のない熱帯熱マラリアに使用される。赤血球内のマラリア原虫の増殖を抑制する。

【主な副作用・毒性】 黒水熱、黒内症、血小板減少性紫斑病、無顆粒球症、HUS、過敏症、頭痛、聴覚障害、肝障害、消化器症状など。大量投与で精神症状 (不安、興奮、錯乱、せん妄等) が出現することがある。

【吸収】  $ka=1.01\pm 0.421/hr$  (1)

【F】 約80% [健常人] (1,U)

【tmax】 2.36hr [カプセル] (1)

【代謝】 80%以上が肝代謝され、代謝物に活性はない (U)

【排泄】 尿中未変化体排泄率約20% (U,17) 酸性尿で排泄は増加 (U) 尿中の主代謝物はキヌクリジン核の2位の水酸化体で、未変化体及び2'位の水酸化体もわずかに排泄 (1) 【CL】  $1.9\pm 0.5ml/min/kg$  (1)

【t1/2】 マラリア患者で16~18hr (U)  $ke=0.081\pm 0.118/hr$  (1)

【蛋白結合率】 健常人70%、マラリア患者85%以上 (U) 健常人約70%、マラリア患者約90% (1)

【Vd】 1.2~1.7L/kg (U) 小児0.8L/kg (U)  $1.8\pm 0.41L/kg$  (1) BBBを通過する (1)

【MW】 396.91 [塩酸塩・水和物]

【透析性】 除去されにくい (U) HD, PD, DHPとも資料なし (1)

【O/W係数】 資料なし (1) 【pKa】 4.3, 8.4 【薬物動態】 中毒濃度は $100\mu g/mL$ 以上 (1)

【相互作用】 ワルファリンの作用増強 (1)

【更新日】 20180508

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。